

第2回 TOKYO強靱化プロジェクト推進会議 議事録

【日 時】 令和5年12月19日（火）11時10分～11時50分

【場 所】 第一庁舎8階災害対策本部室（オンライン併用）

【出席者】 副知事、東京都技監、政策企画局長、都市整備局長 ほか

【議事要旨】

■ 「TOKYO強靱化プロジェクトのアップグレード」について

- ・ 今回アップグレードしたこのプロジェクトを確実に推進していくことが重要である。中間目標を踏まえながら、関係局一丸となって、都民や関係団体の協力も得て、プロジェクトが目指す2040年代の強靱化された東京を実現していく。
- ・ 今後、技術職員が減少・高齢化していく中であっても、10年で1.5倍以上の規模となるこれらの事業をしっかりと進めていくためには、着実な進行管理の仕組みと、より一層の執行力強化が重要となる。
- ・ 来年の4月から建設業における時間外労働の罰則付き上限規制が適用される。プロジェクトの推進はもとより、必要なインフラの整備・管理を確実に推進するため、受発注者双方の生産性の向上や働き方改革が必要である。
- ・ プロジェクトの推進については、未来の東京戦略の中で行うことを基本とはしつつ、事業推進上の技術的な課題解決や、施工の効率化を図る先進技術導入など、技術会議を活用することが必要である。
- ・ 複合災害に備えて、これまで以上に取り組むことが重要。例えば、南海トラフ地震と富士山の噴火が代表例ではあるが、今回の「*upgrade I*」では課題がさらに整理され、方向性が明確になった。今後は国の動き等もあるが、早期の道路啓開の充実等を含めて、対策をさらに具体化する必要がある。
- ・ 対策の具体化に向けては、公助の取組も大切だが、都民の自助・共助をどのように進めていくかも大変重要である。関係各局での検討は勿論だが区市町村とも連携しながら進めること。
- ・ 有事は避けられないが、発災時の初動で正しい情報を発信していくことが非常に重要である。ソフト・ハード対策、複合災害への取組、情報発信、これらが相乗的に合わさることで、強靱化の姿が実現される。
- ・ 今年は関東大震災から100年の節目の年であった。先人たちのたゆまない努力の結晶といえる安全・安心な東京をこれからもレベルアップさせ、次の100年も都民が安心して暮らすことができる都市東京を実現させるため、技術職員の総力を結集して取り組んでいく。
- ・ 今年は関東大震災から100年の節目に当たり、防災に関するイベントや訓練、各種コンテンツによる広報展開など、様々な取組が実施された。今後も、各局と連携しながら、都民の防災意識の向上に取り組むとともに、海外に対しても、災害に強い安全安心な東京を発信していく。
- ・ 今回取りまとめた施策は、来年公表する「『未来の東京』戦略」のバージョンアップに反映していく。
- ・ プロジェクトは形式的に毎年更新するものではないが、災害や危機を取り巻く状況に大きな変化が生じた場合には、必要に応じてアップグレードを行う。そうした中でこの推進会議も活用していきたい。